

三浦のぶひろNEWS

Miura Nobuhiro News 2016 Spring vol.1 発行：三浦のぶひろを励ます会

い
の
ち
を
守
る
、
新
し
い
挑
戦
。

これまで金属寿命のメカニズムを解き明かしてきた三浦。
これからは、世界最先端の医療技術をさらに促進し、
健康長寿国ニッポンの豊かな未来を開きます。

公明党国際局長次長・青年局長次長

三浦 のぶひろ

- 最新のがん治療技術と予防体制の充実
- iPS細胞などの再生医療研究を強力に推進
- 遠隔医療で医師不足対策・疾病の重病化を防止



Profile

三浦のぶひろ 1975年3月5日生まれ。横浜市港南区在住。宮城県仙台市出身。福島県立福島高校、千葉工業大学を卒業後、防衛大学の機械システム工学科助手に。2003年には東京工業大学で工学の博士号を取得。4年おきに開催される先進発電機器材料の国際会議（EU主催）で、最も優れた発表者に贈られる「ベストポスター賞」を連続受賞（02年、06年）。日本人初の快挙となった。2012年、防衛大学校で最年少の准教授に就任。家族は妻と娘と愛犬。

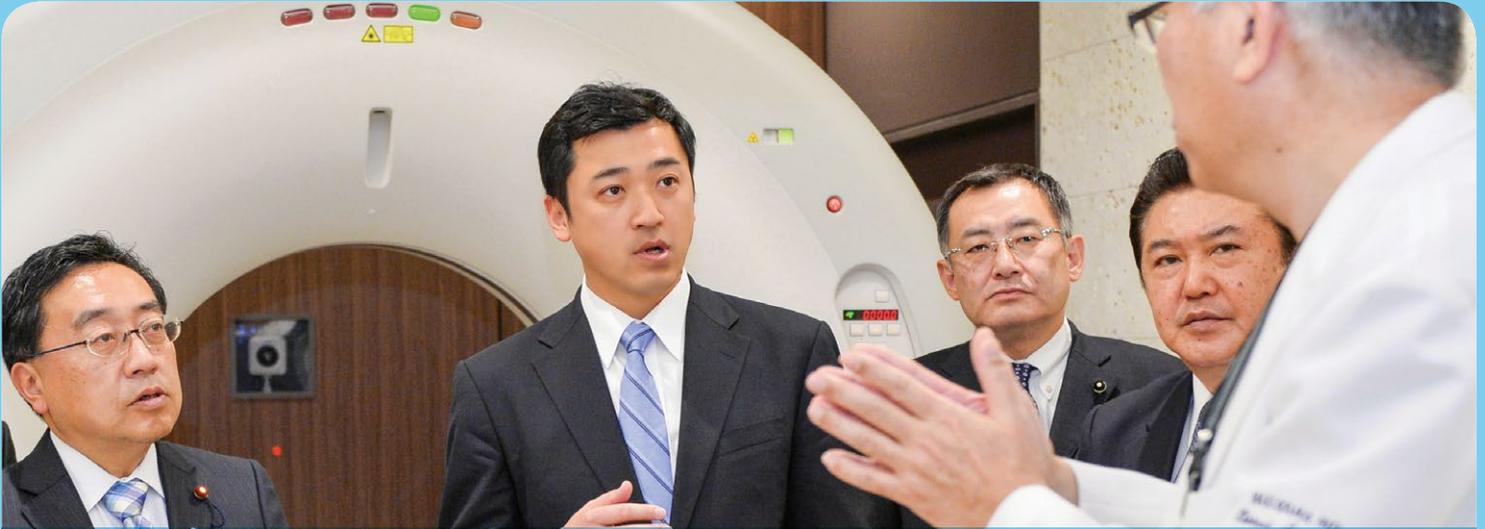
🌐 miura-nobuhiro.com

📘 www.facebook.com/miura.nob

🐦 [@miura_nobuhiro](https://twitter.com/miura_nobuhiro)

✉️ メルマガ登録QRコード
join@miura-nobuhiro.com に
空メールを送信してください。





がん治療の新たな可能性を開く重粒子線治療施設「i-ROCK」(横浜市旭区)を上田いさむ衆議院議員らと視察(2016年2月)

先進医療で いのち、救う。

昨年末、神奈川県立がんセンターに併設された重粒子線治療施設「i-ROCK」が治療を開始しました。重粒子線治療は、光のおよそ70%の速度で重粒子線(炭素イオン)を照射し、深部のがんに対して集中的にダメージを与えながら、周囲の正常部位をあまり傷つけない、最新のがん治療技術です。

個人の全遺伝子配列(ゲノム)の解析技術を応用したオーダーメイド治療や、iPS細胞を活用した再生医療も、県内での研究が進んでいます。また、アミノインデックス[®]やマイクロRNA診断により、がんの超早期発見も可能になりました。

これらの最先端医療技術が一般化するまでには多額の投資を必要とすることから、**三浦のぶひろ**が国を動かし、神奈川県から日本のがん治療のさらなる進展をリードします。

① がん検診の受診率向上で早期発見を

がんの早期発見、早期治療のために、簡便な検診システムの構築で受診率向上を図るとともに、がんの予防対策、健康管理を充実させるため、個人の予防・健康づくりを評価するヘルスケア・ポイントの仕組みの導入を推進します。

② 重粒子線治療への保険適用拡大に全力

重粒子線治療の課題は350万円という費用負担(生命保険等の先進医療特約は充当可)。今春から手術が難しい骨軟部腫瘍の保険適用が決まりました。より多くの人々が安心して重粒子線治療を受けられるよう、さらに保険適用の範囲を拡大します。

③ 就業支援で長期のがん治療をサポート

長期にわたるがん治療と仕事の両立は困難を極めます。がん患者が安心して働き続けられる社会を築くため、拠点病院における相談支援の実施、ハローワークにおける就職支援、企業への啓発などに全力で取り組みます。

未来をつくる、新しい風。

三浦のぶひろ